

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 21 日現在

機関番号：34606

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2012～2015

課題番号：24660068

研究課題名(和文)精神科における医療従事者・患者への禁煙支援プログラム開発と有効性の検証

研究課題名(英文)Development and efficacy of a program for psychiatric healthcare professionals to help patients quit smoking

研究代表者

志野 泰子(shino, yasuko)

天理医療大学・医療学部・その他

研究者番号：30626817

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円

研究成果の概要(和文)：精神科医療従事者による患者への禁煙の必要性の理解と禁煙支援力の向上を目標として、精神科における効果的な禁煙支援プログラムを開発した。医療従事者が積極的な禁煙支援を行うために禁煙支援項目を検討し、抽出された項目についての信頼性・妥当性について分析した。さらに禁煙支援項目についての説明内容を搭載し禁煙支援内容を評価するために評価項目尺度を作成し、介入研究を行った。結果、禁煙支援行動の頻度の有効性検証されたことから、本プログラムは精神科において禁煙支援行動を起こす効果があった。

研究成果の概要(英文)：Quit smoking support to psychiatric patients, also there is a proactive approach has not been made the past of historical background. In order to develop effective Quit smoking support program in psychiatry First, a comparative study of the general ward went for the knowledge and awareness of Quit smoking support to staff and patients of the hospital model. No significant difference was seen in the staff. Next, a result of the investigation with respect to health care workers of the psychiatric hospital in the prefecture, was that the 95% are reluctant to quit smoking support. So aggressive quit smoking support action to extract the quit smoking support item that was revealed in a survey in order to take a result of the verification, reliability and validity of the items were obtained. Quit smoking with the assistance evaluation carried out Result of the model business that created the item scale, the effectiveness of the frequency of quit smoking support action it has been verified.

研究分野：公衆衛生 看護学

キーワード：禁煙支援 精神科医療従事者 禁煙支援項目 禁煙支援評価項目尺度

1. 研究開始当初の背景

わが国における精神科病院では、未だに喫煙を容認しているところもあり敷地内禁煙への取り組みを躊躇しているところもある。それは、精神科の歴史的背景が影響しており、かつては精神科病院に入院している患者の喫煙は、むしろ治療の一貫として捉えられてきた経緯がある。その為、精神障害者の喫煙率は、一般成人人口と比較して2~3倍高く、精神障害者の70%以上が喫煙者で、そのうち50%が heavy smoker であるとの報告がある(Lasser k, et al.)。また、喫煙している多くの精神障がい者はニコチン依存のリスクが高く、喫煙による疾病を引き起こす可能性が大きいことが指摘されている。

しかし、精神障がい者の喫煙者で禁煙を希望する者の割合は、一般成人人口とほとんど変わらないにもかかわらず精神科では、医療従事者による禁煙支援を取り入れている医療機関は少ない。先行研究では禁煙外来における禁煙支援の報告はあるが、精神科病棟における医療従事者が行う禁煙支援項目を検討したうえで禁煙支援の効果を評価した報告は見当たらない。

2. 研究の目的

本研究は、精神科において医療従事者等による禁煙支援が、精神科での禁煙支援の現状を分析し必要な禁煙支援項目を抽出した共通の禁煙支援内容で実施されることと、禁煙支援内容が評価尺度表により評価ができ禁煙支援内容の課題が分かることである。そのための効果的な禁煙支援プログラムを開発することを目的とする。

3. 研究の方法

精神科職員による禁煙支援に必要な項目を質問紙法調査により明らかにしたうえで、禁煙支援評価項目尺度を開発し、介入研究により有効性を検証した。この一連のプロセス

を精神科における禁煙支援プログラムとした。

4. 研究成果

本プログラムの禁煙支援項目の信頼性については、内的整合性は高く信頼性が確認された。3つの因子との間に有意な正の相関がみられたことから妥当性が確認された。探索的因子分析と確認的因子分析によって因子妥当性が確認された。また、研修受講、病院内禁煙検討会議が職員への禁煙支援行動に影響することが確認された。この禁煙支援評価項目尺度に基づく禁煙支援は医療従事者が行う禁煙支援の頻度を増加させる上で有効であり、支援項目についての満足度も有効であることが確認できた。今後は、禁煙支援を継続していくための禁煙環境についての尺度を評価のプログラムに組み入れる必要性が示唆された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 件)

[雑誌論文](計 5 件)

志野泰子 高橋裕子:精神科病棟の喫煙室の撤去に伴うPM2.5測定値の変化、禁煙科学会学術誌、査読あり、2013、Vol17、10巻、PP.10-12

志野泰子 高橋裕子:禁煙の意思決定を導く禁煙支援に必要な項目に関する考察 精神科職員に対する質問紙調査の因子分析から -、禁煙科学会学術誌、査読あり、2015、Vol9、12巻、pp.1-10

志野泰子 高橋裕子:精神科における禁煙支援 禁煙支援評価項目尺度の開発と有効性の検証、禁煙科学会学術誌、査読あり、2015、Vol9、12号、pp.11-20

志野泰子 高橋裕子：禁煙を考える健康教育での精神障がい者の禁煙意識の変化と禁煙阻害因子、禁煙科学会学術誌、査読あり、2015、Vol10、01号、pp.10-18

志野泰子：大学生の喫煙を考える - PM2.5測定値結果を可視化して -、天理医療大学紀要、査読あり、2014、Vol2、01号、pp. 123-130

〔学会発表〕(計 11 件)

志野泰子 高橋裕子：精神科病棟の禁煙阻害要因の分析からみる今後の禁煙継続支援の課題、禁煙治療研究会、示説、2012年4月26日、京都府

志野泰子 高橋裕子：精神障がい者の完全禁煙確保方策と退院後禁煙継続の検証、禁煙科学会 2012年11月17日、岩手県

志野泰子 高橋裕子：精神障がい者の禁煙プロトコール及び精神科病院の禁煙化のロードマップ作成(分担研究報告)、厚生労働科学研究 障害者対策総合研究事業報告、2012年5月28日、東京都

志野泰子 高橋裕子：精神科病棟の禁煙化にむけた意識調査結果 対照群比較検討から禁煙化阻害要因をさぐる -、禁煙科学会 2013年11月4日、群馬県高崎、優秀演題賞

志野泰子 高橋裕子：精神障がい者の禁煙行動を考える、禁煙治療研究会、2013年5月19日、京都府

志野泰子 高橋裕子：精神障がい者の禁煙継続における心的要因についての考察、日本健康心理学会 2013年9月7日、北海道札幌市

志野泰子：精神障がい者の喫煙率が減少

しない病棟環境に関する考察、日本公衆衛生学会、2013年10月25日、三重県

志野泰子 高橋裕子：精神障がい者と一般禁煙者の禁煙継続の背景からの考察、禁煙科学会、2013年11月4日、群馬県

志野泰子 高橋裕子：精神障がい者における禁煙プロセスに関する質的研究、禁煙治療研究会、2014年5月16日、京都府

志野泰子 高橋裕子：禁煙支援の課題をもつ精神科病院職員の禁煙理解度調査からの考察、禁煙科学会、2014年10月25日、福岡県

志野泰子 高橋裕子：禁煙の意思決定を導く禁煙支援に必要な項目に関する考察 - 精神科職員に対する質問紙調査の因子分析から -、日本禁煙科学会、2015年11月7日、神奈川県

〔図書〕(計 件)

〔産業財産権〕
出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織
(1)研究代表者

志野 泰子 (SHINO YASUKO)、天理医療大学
医療学部看護学科、特任教授、研究者番号：
24660068

(2)研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者

高橋裕子 (TAKAHASI YUKO)、奈良女子大学大
学院 教授